

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	-	-	-	-
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・ここ3か月間は、販売量が確実に前年を超えてきた。営業現場は忙しい気がしないと言っているものの、北陸新幹線開業効果が再び盛り返してきたように感じる。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・4月度の売上高は前年超えを見込んでいる。婦人、紳士の初夏向け衣料品の動きが特に堅調に推移しており、全体をけん引している。
		衣料品専門店（総括）	来客数の動き	・来客数は増えてきたが、客単価が上がらない。
		自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・天候の影響もあって、例年と比べてタイヤ交換の時期が長引いている。作業依頼件数が増えて、並行して新規購入客も増えている。車検や車販売の特需もあり売上は伸びている。さらに、より良いものを選択する客が多いため単価も上がっている。若干ではあるが景気が良くなったと考えている。
		住関連専門店（役員）	販売量の動き	・前月までは繁忙期であったが、単価や販売数量は伸びなかった。しかし、今月は単価が落ち込んでいるものの、販売点数が微増し回復の傾向がみられる。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・フリーのお客さんが若干増えたようである。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今月は選挙があったこともあり、どのくらい落ち込むか気にしていたが、非常に良かった前年同月の9割で落ち着いた。ただし、20日以降は静かな日が続いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊部門は、インバウンドが堅調に推移している。宴会部門は、件数がやや増えている。レストラン部門では朝食は堅調なもの、地元客が減少しているため昼夜の売上が伸びない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・結構忙しく仕事がある。タクシーの運転手が、ゆっくりと休憩する時間がない時もある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は花見や歓迎会があり、新年度に入って更に入出が増え、観光客も増加してきた。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・動きの止まっていた分譲地の販売が進んだことや、新たな土地に対する需要によって引き合いが多い。同時に建物需要も高性能や高級設備を取り入れる客層によって、受注高は今後も続きそうである。
		住宅販売会社（営業）	来客数の動き	・展示場の来場者数の増加。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・土日はイベント等で、買物客というよりは人出が多いだけである。そのため購買には結び付かず、平日は近年まれに見る閑散とした雰囲気が続いている。百貨店では切り札の北海道物産展を開催しているが、盛り上がりを欠いた。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・買い急ぎをせず慎重に選ぶという客の傾向は、今までどおりである。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・飲食関係は少し上向きだが、服飾関係では北風が強かった影響で春物は苦戦した。この後の気温の上昇に遅れが出ないかが懸念材料となっている。市長選挙に市議会選挙、ヨーロッパの政治動向や北朝鮮問題など落ち着かない様子が購買意欲にも表れている。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	販売量の動き	・新年度に入り案件の問い合わせや引き合いは多いが、受注競争が激しく、利益が確保出来ない。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・来客数は微増のため販売量が増えておらず、良いとは言えない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・前年より暖かくなるのが遅く、天候のずれによって婦人服など、雑貨関係も含めてアパレル関係は前年を上回っている。客の買い方は、シーズンを通して長く使えるものを探しており、その傾向が強くなってきていると考える。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・美容や健康を切り口とした商品は好調であるが、その他の一般品における節約志向には依然として変化がみられない。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数に大きな変化が見られない。	

スーパー（総務担当）	お客様の様子	・大型スーパーやドラッグストア、コンビニエンスストアといった競合店のオープン等で影響を受けた自店舗の売上、来客数は減少している。しかし、来店客の買上点数や購入単価の様子に差はなく、特需景気で左右されているわけではないと考える。
スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は前年を下回っているが、特売商品を増やすことで1人当たりの買上点数が増加した。客単価を上げることで何とか前年売上をキープしている。
スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・3月以降は競合店対策のために販促強化を実施しているが、依然として来客数の確保が困難な状況である。
スーパー（統括）	来客数の動き	・来客数が伸び悩んでいる。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・現在は生野菜のサラダや健康食品のパンなどが、好調に推移している。健康食品を1つ、2つと買っていく客がいるため売上は堅調に推移している。ただし購入単価は上がっておらず、1人当たりの購買は100円とか、コーヒー1杯だけという客も多い。
コンビニ（経営者）	販売量の動き	・気温の上昇と共に売上は上がる。日祝日のイベントのある日は、天候に左右されて変化はあるだろうが、ウィークデーは全く変わっていない。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・選挙もあり地政学リスクの高まりもあり、消費全体が重い。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・流通業界のトップに、デフレ脱却は幻想であったと言わせるほど、現状の節約志向は根強いものがある。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・検討中の客が多く、購入にまで至らない。
その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・4月は年度替りや歓迎会、花見などで少しは動きが出るかと期待していたが、やはりだめであった。
その他小売〔ショッピングセンター〕	販売量の動き	・野菜の相場安が続き、食料品部門は前年を維持できている。衣料や住まいの品が悪いままとされており、特に婦人服やセレモニー関連、子供衣料がずっと悪い。不振続きだった玩具はヒット商品が出て期待している。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・来客数は前年から伸びている状況であり、館内は客でにぎわっている。全館の売上は前年と比べてやや超過しており、堅調な状況である。要因としてはシネマの好調が大きく、それに伴って食料品、飲食店も好調である。ただし、衣料品については売上が前年比で落ち込んでいる状況であり、苦戦が続いている。
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・桜の開花が例年より1週間遅く、春休み後であったため4月2週目は集客が伸びた。しかし、単価が低調だったため売上は例年並みとなっている。
一般レストラン（統括）	販売量の動き	・プレミアム限定として話題性のある商品は、販売価格が通常品より高くても売れる傾向だが、定番品の販売動向が悪い。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・4月は大型団体の受注があり売上を伸ばすことができた。しかし、個人客や40人以下の団体などの客の動きは悪くなってきている。
観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上85%、宿泊人数81%、宿泊単価101%である。14名までの個人旅行が82%と大きく減少したことが要因とみられる。ただし、北陸新幹線開業前の年との比較では104%を維持している。
旅行代理店（所長）	販売量の動き	・団体旅行の販売量は、実施時期の変更を含め前年と変わらない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・前年と比べて販売数に変化はない。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・大きな値引きや施策を展開していないが、顧客要望に沿った付帯販売があったため、販売数量はあまり落ち込まなかった。しかし、大きな販売にはつながっていない。
テーマパーク（役員）	来客数の動き	・来客数の動きをみると、国内の団体と個人客は2～3か月前と比べて全体的に弱いものの、海外からのインバウンド客は引き続き強い動きである。全体としてはトータルで横ばいに推移している。
その他レジャー施設（総支配人）	来客数の動き	・大人会員の施設見学や体験、入会はそこそこ動いているが、子供の入会は動きがない。年度末に減少している会員数を取り戻すにはほど遠い状態である。

	美容室（経営者）	来客数の動き	・1～2月の来客数は前年比を大きく割り込んだが、3～4月は前年比をクリアしている。はっきりした景気動向が読めない状況である。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・常設展示場や内見会への来場者の購入姿勢に大きな変化は見られない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量が安定しない。個人が住宅を希望しても資金的に厳しい場合や、企業間の競争が厳しい場合もある。
	コンビニ（店舗管理）	販売量の動き	・週末の天候が悪く、花見の需要期間が短くなってしまった。このため売上高は前年を割っている。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・今月の当店舗の状況は、一言で言うと停滞である。この時期は陽気のせい、飲食やレジャーの方に消費が向いているようである。しかし、給料が増えたという話は一向に聞かない。どこにお金が滞っているのだろうと考える。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来場者数が大きく落ちている。土曜日、日曜日も変わらず少なくなっている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・車両販売、修理、整備共に3月の繁忙期を過ぎて徐々に売上が落ちており、来客数も少なくなっている。
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・4月の販売量は前年同月比99%の見込みである。1月の販売量が前年同月比126%であったので、3か月前との比較で下向きである。
	通信会社（職員）	単価の動き	・客の商品選択が、一時期の質重視から低価格重視に移ってきている。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・3月の商戦期が好調に推移した後の反動なのか、契約数が若干伸びなかった。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・取扱商品のうちテレビとスマートフォンの契約数は、順調に増加している。その反面、インターネットと固定電話契約数は足踏み状態となっており、商品別にまだら傾向にある。全体として景気は良いとも悪いとも言えない状況である。
	x	-	-
企業 動向 関連 (北陸)	食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・特定の販売チャネル向けのコンビニエンスストア用商品が好調に推移している。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ユニフォームや自動車関連の資材では受注が回復傾向にあり、何とか受注量は確保できている。一方でスポーツ衣料の輸出については厳しい受注状況が続いている。
	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内と米国市場からの受注が伸びた。
	精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・百貨店系など一部では、特に高付加価値商品で厳しい状況が続いている。しかし、顧客の在庫調整が一段落したようで、若干ではあるが仕入れの動きが増えている。
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の話では、少しずつ動きが出てきているということである。個人客の問い合わせが結構あり、仕事に結びついている傾向が出てきている。
	税理士（所長）	取引先の様子	・最近の客の動きをみると、建設業、製造業などで仕事の予定が順調に入ってきている様子である。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前回に引き続き、特に大きな変化はない。
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注状況は順調に推移している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年は手持ち工事が少ない時期である。過去のこの時期と比べて大差はない。
	建設業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・首都圏を除き、低価格の受注競争が一部で激しさを増している。受注環境は厳しい状況が続いている。
	輸送業（配車担当）	競争相手の様子	・軽油価格が上昇したことによって、輸送コストが上がり利益を圧迫している。
	金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・最近では建設関係の工事が増加したとの声が多い。
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・北陸新幹線開業1年目の特需には届かないものの、2年目の売上、利益は新幹線開業前の水準を上回っているというホテルや飲食店が多い。ただし、3か月前との比較で上振れや下振れしたという業績報告は聞かない。
	司法書士	取引先の様子	・会社や法人等の解散は多いが、設立も同じくらいある。

		-	-	-
	x	-	-	-
雇用 関連		-	-	-
(北陸)		求人情報誌製作 会社(編集者)	求人数の動き	・求人広告1回の発行で、50件ほど掲載件数が増えている。
		新聞社[求人広 告](担当者)	雇用形態の様子	・求人広告の掲載数が、前年比で約150%と大幅に伸びた。業種別のバランスは前年、一昨年と比較してもあまり変わっておらず、全体的な人手不足感が定着してきたと考えられる。その中でも前年よりも大きく伸びた掲載数から、その人手不足感が再び加速しつつある状況であると考えられる。これは景気が続けて上向きになっている証拠であると考えられる。
		人材派遣会社 (役員)	求職者数の動き	・依然として派遣システムへの登録者数が増えない。企業とのマッチングに難航している。
		職業安定所(職 員)	それ以外	・求職者数は横ばい状態、求人者数はやや上向きである。本来であれば景気は上向き、今後も上向きかとも言えるのだが、欠員補充の求人がかなりあることから求人の増加が純粋に景気が上向きであるということにはつながらない。また、求人数の伸びについては、慎重に判断すべきではないかと考える。そうしたことから、今後については変わらないと推察する。
		民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・年度が変わり新入社員によって要員数が増加したため、人材紹介や派遣社員の受注件数が減少している。一方で接客に関する仕事の入札案件が増加してきている。
		学校[大学] (就職担当)	求人数の動き	・求人票の出方は落ち着いてきた。求人数は前年より1~2割ほど多くなっている。
		新聞社[求人広 告](役員)	求人数の動き	・4月の求人広告売上は、前年同月比で6割である。
		職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・受注が多く忙しかった状態から、現在は落ち着いているという企業が多くみられた。
	x	-	-	-